北陸電力・金井社長から感謝状

フライアッシュ活用を助言

金沢大・鳥居教授 志賀防潮堤など成果

金井社長（左）は鳥居教授に感謝状を手渡した

北陸電力の金井豊社長はこのほど、金沢大学の鳥居和之教授に感謝状を贈呈した。志賀原子力発電所の防潮堤にフライアッシュ（微細な石炭灰）を活用するといった助言をはじめ、同社の事業に大きく貢献したことが理由。贈呈式で金井社長から賞状を受け取った鳥居教授は「三十数年にわたって北陸電力と共同研究してきた成果が表れてうれしく思う」と喜びを語った。

鳥居教授は北陸電力の技術アドバイザーとしてコンクリート構造物へのフライアッシュ活用を助言。北陸電力は鳥居教授の助言に従い、志賀原子力の防潮堤や富山新港火力発電所LNG1号機のコンクリート構造物にフライアッシュを活用した。ひび割れが減るなど耐久性が向上する成果が出たという。

鳥居教授は北陸3県や国土交通省によるフライアッシュ利用促進の委員会にも参画。公共工事へのフライアッシュの利用拡大にも貢献した。